

「第15回人権を映画で観る」上映会



「人権を映画で観る」上映会は、1999年に第1回目を開催してから今回で15回目を迎えます。この上映会は、人権の視点から映画を捉え、映画を通して人権と民主主義とともに考え合い、映画文化の発展に寄与しようとする企画です。これまでに114本の名作を上映し、数多くの方々に鑑賞していただきました。

今回は、「映画の力、生きる力」を中心テーマにして上映会を開催します。上映会・前夜祭ともに、多数の方のご来場をお待ちしております。

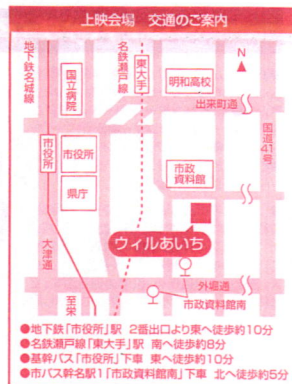
◆記念講演 日時 **2月7日(金)**
会場 **ウィルあいち(1階セミナールーム①及び②)**

◆上映会 日時 **2月8日(土)～2月9日(日)**
会場 **ウィルあいち(4階ウィルホール)**
〒461-0016 名古屋市中区上野町1番地 TEL 052-962-2511

●協力券は下記申込書の送付代金振込をして
地域人権ネットに直接申込みいただくか、会場
にて当日受付でお求めください。

上映協力券
2日通し券 / 3,000円
1日券 / 1,500円
単独券 / 800円
※障がい者・中高生は半額

2月8日 (土)	第1回 上映	10:20～12:15	カン・テギュ 監督 ハーモニー 心をつなぐ歌 2010年 韓国
	第2回 上映	12:55～14:33	黒澤明 監督 八月の狂詩曲(ラブソディー) 1991年 日本
	第3回 上映	14:50～16:16	清水宏 演出 蜂の巣の子供たち 1948年 日本
	第4回 上映	16:35～18:02	木下恵介 監督 陸軍 1944年 日本
2月9日 (日)	第1回 上映	10:10～11:58	ミハル・ボガニム 監督 故郷よ 2011年 フランス・ドイツほか
	第2回 上映	12:40～14:40	齊藤潤一 監督 約束 2012年 日本
	第3回 上映	15:00～16:56	トム・シャドヤック 監督 パッチ・アダムス 1998年 アメリカ



前夜祭 記念講演

◆日時 **2月7日(金)午後6時00分～8時00分**
※上映協力券購入者は無料、以外の方は1,000円

◆会場 **ウィルあいち(1階セミナールーム①及び②)**
〒461-0016 名古屋市中区上野町1番地 TEL052-962-2511
地下鉄「市役所」駅2番出口より東へ徒歩10分

◆記念講演 講師/ **石子 順**(映画評論家・元和光大学表現学部教授)
「映画の力、生きる力 — 人はなぜ映画を観るのだろう」

【主催】 地域人権ネット

(愛知地域人権連合、NPO地域人権ゆうあい会)

〒461-0017 名古屋市中区東外堀町57番地 岩佐ビル
TEL(052)971-0265 FAX(052)971-0726

上映協力券申込書

氏名	
住所〒	
TEL()	
上映協力券を下記のように申込みます。	
①2日通し券(枚) ②1日券(枚)	2月7日 記念講演 参加・不参加
③単独券(枚) ④障がい者・中高生(枚)	(どちらかを○で囲って下さい)
※申込み代金支払方法(どちらかを○で囲って下さい)	
①郵便振替 00860-7-44332(口座名義:愛知地域人権連合) 郵便局で振込用紙に必要事項と「通信欄」に必要枚数をご記入下さい。	
②銀行振込 三菱東京UFJ銀行 愛知県庁出張所 普通 3505848 地域人権ネット 代表者 丹波正史(たんばせいし) 御入金確認後、協力券を送付します。	

【この用紙を使って FAX(052)971-0726 でお申し込みできます】

カン・テギョ 監督 **ハーモニー 心をつなぐ歌** 2010年 韓国

●監督:カン・テギョ●脚本:カン・テギョ
●撮影:キム・ヨンホ●音楽:シン・イギョン
●出演:キム・ユンジン/ナムニ/カン・
イェウォン/チョン・スヨン/パク・ジュン
ミョン

●女子刑務所を舞台に、様々な事情で罪を
犯し服役している女性たちがそれぞれの思
いを胸に合唱団を結成し、猛練習に動む中
で繰り広げられる人間模様を涙と感動で綴
るヒューマン・ストーリー。お嬢の子を夫
の暴力から守るために殺人を犯した罪で
ジョン・ジュ女子刑務所で服役中のジョンヘ(キム・
ユンジン)は、ある日、慰問にやって来た合唱
団の歌声に感銘を受ける。自分たちでも
合唱団を結成しようと思いついたジョンヘ
は、半年間で成果を上げることを条件に所
長から結成の許可を得て、早速メンバー集
めを開始する。



齊藤潤一 監督 **約束** 2012年 日本

●監督:齊藤潤一●音楽:本多俊之●脚
本:齊藤潤一●出演:仲代達矢/樹木希
林/天野鎮雄/山本太郎

●昭和36年、三重県名張市の外れの村
で住人たちの懇親会が開かれ、男性に
は日本酒、女性にはぶどう酒が振る舞わ
れた。しかし、ぶどう酒を口にされた女
性が何の前触れもなく苦しいと訴え始
め、15人が倒れ、5人が死亡。容疑者
として逮捕された奥西勝は自白を強要さ
れたとして、無罪を主張。人権活動家は
奥西の無実を訴える活動を展開し、弁護
士も疑問の残る唯一の物証の鑑定を始
める。事件当時の捜査や幾度かの判決
の経過に、司法のあり方や正義とは何か
について考えさせられる。実録ドラマを
交えて描いたドキュメンタリー。



ミハル・ボガニム 監督 **故郷よ** 2011年 フランス・ドイツほか

●監督:ミハル・ボガニム●音楽:レシェク
ク・モジゼル●脚本:ミハル・ボガニム●出
演:オルガ・キュリレンコ/アンジェイ・ヒラ
ノ/イリヤ・イオシフォフ/ヴァチェスラフ・ス
ランコ/セルゲイ・ストリルニコフ

●本作が長編映画デビューとなるミハル・ボ
ガニムが監督を務め、チェルノブイリ近郊の
立入制限区域内で初めて撮影された切ない
人間ドラマ。チェルノブイリからわずか3キ
ロの美しい町で幸福に暮らしていた人た
ちの生活が、原発事故により一変する衝撃
を映し出す。ヒロインを熱演するのは役同
様ウクライナ出身のオルガ・キュリレンコ。叙
情的な風景と共に描かれる消滅した町の元
住民たちのその後の姿に胸をつかれる。



清水宏 演出 **蜂の巣の子供たち** 1948年 日本

●制作・演出・脚本:清水宏●撮影:古山
三郎●音楽:伊藤寅二●出演:島村修作
/夏木雅子/御庄正一/久保田晋一郎
/千葉義勝/岩本豊

●主人公 島村は戦地から復員してきた
が、家も親兄弟もなく、行く当てがなかつ
た。下関の駅構内で島村は1人の浮浪
児と知り合った。子供たちはこそ泥や
かっぱらいなどをして生計を立てていた
が、裏では元締めに乗られ、その上前を
ピンハネされていた。島村は子供たちを
連れて旅に出ることになった。時に歩き、
時に電車に乗り、野宿をしながら、彼ら
は広島まで進むのだった。



トム・シャドヤック 監督 **パッチ・アダムス** 1998年 アメリカ

●監督:トム・シャドヤック●製作総指揮:
トム・シャドヤック、マーシャ・ガーセス・ウイ
リアムズ●原作:ハンター・ドハーティ・アダム
ス、モーリーン・マイランダー●音楽:マーク・
シェイマン●脚本:スティーヴ・オーデカーク
●出演:ロビン・ウィリアムズ/ダニエル・ロ
ンドン/モニカ・ポッター

●「ユーモアによる治療が重要」という説を
実践し、医学界の常識を覆した医学学生パ
ッチ・アダムスの半生を描く。自殺未遂の果
て、自らの意志で精神科に入院したアダム
ス。彼はそこで目覚め、医学の道を志す。2
年後、ヴァージニア大学の医学部に入学し
たアダムスは、規則に背いては患者をユー
モアで楽しませていた。冷やかな視線を向
ける学部長や同僚を後目に、やがて彼は恋
人カリンとともに、夢に見ていた無料治療
院を開院するが...



黒澤明 監督 **八月の狂詩曲(ラプソディー)** 1991年 日本

●原作:村田重代子●監督・脚本・編集:黒澤明●ゼネラルプロデュー
サー:奥山隆●プロデューサー:黒澤久雄●音楽:池辺晋一郎●撮影:
斎藤孝雄、上田正治●出演:リチャード・キア/吉岡秀隆/井川比佐志
/根岸季衣/河原崎長一郎

●かつて原爆を体験した祖母の許を訪れた4人の孫が体験するひと
夏の出来事を描き、反核を訴える感動ドラマ。夏休み、長崎から少し離
れた山村に住む老婆・鉦の許に4人の孫たちがやってきた。都会の生
活に慣れた孫たちは田舎の生活に退屈を覚えながらも、長崎の街にあ
る戦争の傷跡や鉦が話す昔話を聞いて、戦争に対する考えを深めて
いく...。その反核に対するストレートな表現が賛否を呼んだが、ラス
トのシーンには誰も胸を打たれることだろう。



木下恵介 監督 **陸軍** 1944年 日本

●監督:木下恵介●原作:火野葦
平●脚本:池田忠雄●撮影:武富
善男●美術:本木勇●出演:笠智
衆/田中絹代/杉村春子/上原
謙/東野英治郎/佐分利信/佐
野周二

●幕末から始まり、日清・日露戦
争を過ぎて日中戦争までの時
代までの九州のある一家の姿を
通して愛国心をひたすら説いてい
く。元軍人の軍國の父 笠智衆と
その周辺の人間模様、さらに長男
の出征までが描かれる。親子の愛
情を表現が秀逸で、母役の田中絹
代の名演が光ります。軍人勲章を
口ずさみ我慢していた絹代が、た
まらず飛び出し、出征する息子に
こぼる泣き顔も会いに行くシーン
などは感動的です。軍国主義真っ
只中、当時の庶民の心理を反映していた内容が国威発揚映画の衣を纏ったのがこ
の作品だった。



4618790
(623)

山口県中津区東外瀬田の番地
住住ビル

地域人権 ネット行

ご協力をお願い

私たちは、この上映会をみなさんのご協力で成功させたい
と考えています。ご協力いただける方は、下記の該当
する項目に○を付けて下さい。

- ①上映協力券を友人や知人などに普及してもよい。
- ②チラシを友人や知人に配付してもよい。
- ③上映会成功のため募金をしてもよい。
- ④その他 ()

キリトリ

料金受取人私郵便

名古屋東支店

承認

530

差出有効期限

平成26年1月1日

～平成27年12月

31日まで